

Course number		U-LAS22 20001 SO48					
Course title (and course title in English)		フランス語II A F2106 Intermediate French A			Instructor's name, job title, and department of affiliation		Part-time Lecturer,NISHIYAMA YUKI
Group	Languages			Field(Classification)			
Language of instruction	Japanese			Old group	Group C	Number of credits	2
Number of weekly time blocks	1	Class style	Seminar (Foreign language) (Face-to-face course)		Year/semesters	2024・First semester	
Days and periods	Wed.2		Target year	2nd year students or above		Eligible students	For all majors
[Overview and purpose of the course]							
<p>&lt; フランス語圏の文化と生活 &gt;</p> <p>フランス語圏に暮らす人々の生活や文化を扱った教材を使って、表現力を中心にフランス語の運用能力を身に付けるとともに、文化の多様性についての理解を深める。</p>							
[Course objectives]							
<p>1) フランス語の基本的な語彙と文法を学び、自然な音とリズムを身につける。</p> <p>2) 辞書を使いながらある程度まとまったフランス語の文を理解できるようにする。</p> <p>3) 世界のフランス語圏について知る。</p>							
[Course schedule and contents)]							
<p>フランス語圏を紹介する文献を読み、さまざまな練習問題を通じて、フランス語力の伸長を図ります。シャンソン、マルチメディア資料を使用し、フランス語世界への理解を深めます。</p> <p>(1) オリエンテーション</p> <p>(2) Lecon 0 「フランス語圏について知っていますか」</p> <p>(3) Lecon 1 「フランス語圏の都市」(C'est~の文)/「世界のフランス語圏」</p> <p>(4) Lecon 2 「私たちは学生です」(etre, avoir)/「フランスの諸言語」</p> <p>(5) Lecon 3 「彼女はよく勉強する!」(er動詞)/「ヨーロッパのフランス語」</p> <p>(6) Lecon 4 「週末には何を?」(ir動詞・不規則動詞)/「北米のフランス語」</p> <p>(7) Lecon 5 フランス語圏のどこを訪れる?」(比較級、最上級)/「カリブ海地域のフランス語」</p> <p>(8) Lecon 6 「ブリュッセルでの週末」(代名動詞)/「マダガスカル島のフランス語」</p> <p>(9) Lecon 7 ヴァカンス」(複合過去)/「ブラックアフリカのフランス語」</p> <p>(10) Lecon 8 「フランスに住んではいなかった」(半過去)/「東南アジアのフランス語」</p> <p>(11) Lecon 9 「アフリカの国に行くでしょう」(単純未来)/「太平洋地域のフランス語」</p> <p>(12) Lecon 9 「アフリカの国に行くでしょう」(単純未来)/「太平洋地域のフランス語」文法のまとめ</p> <p>(13) Lecon 10 「かわいい子には旅をさせよ」(条件法・接続法)/「フランコフォニー国際機関」文法のまとめ</p> <p>(14) Lecon 10 「かわいい子には旅をさせよ」(条件法・接続法)/「フランコフォニー国際機関」</p> <p>(15) 試験</p> <p>(16) フィードバック</p>							
-----							
Continue to フランス語II A F2106(2)							

## フランス語II A F2106(2)

### [Course requirements]

Refer to "Handbook of Liberal Arts and General Education Courses".

### [Evaluation methods and policy]

出席と授業への参加を重視する。平常点と学期末試験を総合して評価を行う。原則として、5回以上欠席した場合には単位を認めない。

### [Textbooks]

小松祐子、デルメール・ジル 『『フランコフォニーへの旅』（改訂版）』（駿河台出版社）

### [Study outside of class (preparation and review)]

予習：教科書の内容をあらかじめ自宅で下読みしてくる。（辞書をつかい意味を調べる、発音の仕方を考える）

復習：授業で習った内容について、発音・音読の練習を毎日繰り返し行う。

### [Other information (office hours, etc.)]